

## 登米市の概要



登米警察署庁舎などの歴史的建造物のほか、ユネスコ無形文化遺産に登録された米川の水かぶり、県指定無形民俗文化財のとよま秋まつりの山車行事などが行われ、多くの人でにぎわいます。

登米市は、宮城県の北東部に位置し、北部は岩手県に、西部は栗原市及び大崎市に、南部は石巻市及び遠田郡に、東部は気仙沼市及び本吉郡に接しています。

本市と周辺主要都市との直線距離は、仙台市まで70km、大崎市まで25km、石巻市まで30km、一関市まで30kmです。

地勢は、西部が丘陵地帯、東部が山間地帯で、その間は広大で平坦肥沃な登米耕土を形成、県内有数の穀倉地帯となっており、環境保全米発祥の地として、宮城米「ひとめぼれ」などの主産地となっています。また、全国でも有数の肉用牛生産地として有名な地域です。

本市北西部にはハクチョウやガンなどが飛来するラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼をはじめ、長沼、南部には平筒沼など貴重な湖沼が多く、自然に恵まれています。

国指定重要文化財として名高い旧登米高等尋常小学校校舎や県指定有形文化財の旧

区分	令和3年2月末日現在	平成27年国勢調査
人口	77,212人	81,959人
世帯数	27,257世帯	26,196世帯
面積	536.12km <sup>2</sup> (県内第5位)	

## 沿革

- 平成17.4 ・ 迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町、津山町の9町が合併し、登米市が誕生する(幼稚園16園、小学校27校、中学校10校)
- 平成17 ・ 学校の耐震診断を行い、小学校10校、中学校3校の耐震補強設計を行う
- 平成18.4 ・ 学校統合により閉校となった旧新井田小学校の改修工事が完了し、中田幼稚園を中田町上沼地内から中田町新井田地内に移す
- 平成18 ・ 学校統合により閉校となった旧桜場小学校を中田生涯学習センターに転用するため、2年間にわたり改修する
- 平成19.4 ・ 小学校10校、中学校3校の耐震補強工事を行う
- 平成19.4 ・ 豊里中学校の校舎建設工事が完了し、校舎一体型豊里小中学校が開校する
- 平成19 ・ 教育委員会に活き生き学校支援室を設置する
- 平成19 ・ Satoru Sato Art Museum (サトル・サトウ・アート・ミュージアム) が中田生涯学習センター3階にオープンする
- 平成20.4 ・ 新田第一小学校と新田第二小学校の耐震補強が不可能なため、新田中学校敷地に統合校舎を建設する
- 平成20.4 ・ 学校及び幼稚園統合により、錦織小学校、米川小学校、新田小学校、新田幼稚園が誕生する
- 平成20 ・ けやき教室を米山町(旧善王寺幼稚園)から中田町(旧中田幼稚園)に移転する
- 平成20.4 ・ 北方小学校と新田中学校の校舎及び屋体の大規模改造工事を行う
- 平成21.4 ・ 学校統合により米山東小学校が誕生する
- 平成21.4 ・ 教育委員会事務局の組織再編により、4課1室体制から教育総務課、学校教育課、生涯学習課、活き生き学校支援室の3課1室体制とする
- 平成21 ・ 高倉勝子美術館が登米町にオープンする
- 平成21.4 ・ 中田中学校の校舎と津山中学校の校舎及び屋体の大規模改造工事を行う
- 平成22.4 ・ 新田小学校と新田中学校(併設型校舎)で一人校長制を導入する
- 平成22.4 ・ 米山公民館、吉田公民館、中津山公民館を指定管理に移行する
- 平成22.4 ・ 第1回登米市駅伝競走大会を実施する
- 平成23.4 ・ 公民館8施設、社会体育施設7施設、文化振興施設3施設を指定管理に移行する
- 平成24.4 ・ 全町域に総合型地域スポーツクラブが設立される
- 平成24.4 ・ 錦織公民館を指定管理に移行する
- 平成25.4 ・ 佐沼小学校新校舎が開校(森小学校と統合)
- 平成25.4 ・ 西部学校給食センターが開所
- 平成25.4 ・ 登米公民館、豊里公民館、石越公民館、津山公民館及び津山若者総合体育館を指定管理に移行する
- 平成26.4 ・ 森公民館、米山体育館、吉田運動場及び中津山運動場を指定管理に移行する
- 平成26.4 ・ 石越中学校新校舎が開校
- 平成27.4 ・ 教育委員会事務局の体制を「教育部」とするなど組織体制の改編を行う
- 平成27.4 ・ 市内各小中学校の非構造部材の耐震化工事を行う
- 平成28.2 ・ 登米市施行10周年記念事業「日本の古典美 舞と長唄の魅力」を開催
- 平成28.2 ・ 長沼ポート場クラブハウス、登米市パークゴルフ場、新登米懐古館の整備事業に着手
- 平成29.1 ・ 西部学校給食センターで提供している献立が、第4回宮城県学校給食『伊達な献立』コンクールで最高賞である宮城県知事賞を受賞する
- 平成29.1 ・ 学校現場における業務改善加速事業を導入して児童生徒の学力向上対策に着手
- 平成29.8 ・ 長沼ポート場で全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)ポート競技大会を開催
- 平成30.9 ・ 長沼ポート場クラブハウスがオープンする
- 平成30.11 ・ 米川の水かぶりがユネスコ無形文化遺産に登録決定される
- 令和元.5 ・ 米川の水かぶりのユネスコ無形文化遺産「来訪神：仮面・仮装の神々」認定書が保存会及び本市に伝達される
- 令和元.9 ・ 登米懐古館が移転・開館
- 令和2 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内小・中学校等の臨時休業や、東京オリンピック・パラリンピックの延期に伴うポーランドボートチームの事前合宿及び登米市成人式の延期等、各種事業・イベントの中止や延期が余儀なくされる。

2021

# 登米市の教育

生きる力と創造力を  
養い自ら学び人が  
「そだつ」まちづくり



**【ユネスコ無形文化遺産米川の水かぶり】**  
東和町米川五日町地区に古くから伝わる火伏せ行事で、毎年2月の初午に行われます。令和3年2月の本祭は、雪が舞う厳寒の中、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で伝統の神事が行われました。水かぶりの一行は米川小学校も経由するので、伝承文化に触れる貴重な機会となっています。

## 令和3年度 登米市教育基本方針

生涯にわたって、文化的で生きがいに満ちた人生を歩むために、自ら学ぶことを楽しむとともに、これまで培われてきた歴史や文化をさまざまな場面で享受し、新たな歴史や芸術・文化を主体的に創造する心身ともにたくましい市民の育成を目指します。

### 1. 学校教育

- ◆ 確かな学力の向上と豊かな社会性の育成
- ◆ 学校と家庭・地域が連携した地域とともにある学校づくりの推進

### 2. 社会教育

- ◆ 心豊かな生活に向けた生涯学習の充実
- ◆ 地域に密着したスポーツ活動の推進
- ◆ 文化が息づくまちの創造

## 令和3年度の主な取組

### 1. 「学校教育」の分野

- ◇ 学力向上対策事業
- ◇ 小中学校等再編整備事業
- ◇ コミュニティ・スクール推進事業
- ◇ 学校音楽支援事業(吹奏楽器の更新)

### 2. 「社会教育」の分野

- ◇ 学校・地域教育力向上対策事業
- ◇ 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿支援事業
- ◇ 文化財の保護・保存の支援と伝承活動の充実

## 市立学校及び幼稚園の状況(令和3年度見込み数)

( ) 内は特別支援学級数で内数

区分	幼稚園	小学校	中学校
校・園数	7園	22校	10校
園児・児童・生徒数	160人	3,571人	1,930人
学級数	14学級	212(51)学級	83(25)学級

## 登米市教育委員会

〒987-0602 宮城県登米市中田町上沼字西桜場18番地  
TEL:0220-34-2670 FAX:0220-34-2504 E-mail:kyoikusomu@city.tome.miyagi.jp

## 確かな学力の向上と豊かな社会性の育成

### 【学ぶ土台づくり】

生涯にわたる人間形成の基礎を築く幼児期にふさわしい教育環境を整備するとともに、基本的な生活習慣の育成や望ましい社会性、学ぼうとする意欲などを育成し、健全な心身の発達を図ります。

家庭や地域、関係機関と連携を強化しながら、幼児の生活体験の充実や豊かな遊びの創造に向けて取り組みます。

### 【児童生徒の学力向上】

令和2年度に、学力向上のための学校支援体制の見直しにより、学力向上に重点を置いた組織として立ち上げた「登米市教育支援センター」を中心に、小中学校と連携して児童生徒の学力向上を図っていきます。

また、児童生徒が主体的に学ぶ登米市独自の授業スタイル「登米市学習スタンダード」を活用し、分かる授業づくりを通して学力向上を目指します。

「登米市学習スタンダード」  
(児童生徒用)

#### 登米市学習スタンダード

- 1 「やるぞ！」  
～進んで課題に取り組もう～
- 2 「そうか！」「なるほど！」  
～みんなで考えを出し合おう～
- 3 「分かった！」「できた！」  
～振り返りで学びを深めよう～

### 【生徒指導の充実】

登米市いじめ防止基本方針に基づき、年2回のいじめ調査を実施するとともに、学級生活満足度調査により居心地の良い学級づくりを進めるなど積極的な生徒指導に努めます。

また、中田生涯学習センターに集団学習支援を行う「登米市けやき教室」と個別指導支援を行う「心のケアハウス」を置き、学校に行くことができない児童生徒への総合的な支援体制を構築することで、児童生徒の居場所づくりを推進し、児童生徒が安心して生き生きと活動できる環境づくりに努めます。



▲「中田生涯学習センター」

### 【教育環境の充実】

主体的に学習する意欲を高め、学力の向上を図る目的で導入したタブレット型端末を効果的に活用するための環境整備を継続します。

小中学校の吹奏楽器を計画的に更新し、児童生徒の音楽活動を支援するとともに、音楽を通じて、情操教育を推進します。

## 学校と家庭・地域が連携した、地域とともにある学校づくりの推進

### 【地域との連携】

#### ◆志教育の推進

夢や希望を持ち、将来の社会人としての生き方を主体的に求めさせるため、様々な人とのかかわりを通じた学習や体験活動を取り入れます。中学校ごとにキャリアセミナーを実施し、様々な職種の方の生き方に触れ、より具体的な職業観をもたせていきます。

#### ◆防災教育の推進

大規模災害が頻繁に発生する今日、地域防災の重要性を鑑み、未来の地域防災の担い手である小中学生に「自助」「共助」「協働」の精神を身に付けさせ、将来起こりうる様々な災害で地域の防災リーダーとして活躍できる人材を育成するために、地域と連携した防災教育を推進します。

小中学生が防災に関する学習をとおして、命を大切にすることを育むとともに、防災教育に関する知識・技能の習得と指導力の向上を図り、地域の防災力向上を推進します。

### 【地域とともにある学校づくり】

#### ◆コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の推進

平成31年4月に市内すべての小中学校に学校運営協議会が設置され、地域に根ざした教育を展開しています。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)では学校課題や地域課題についての熟議を行い、今まで以上に学校と家庭・地域が連携して、登米市の将来を担う「心豊かな登米人」を育成します。

学校と保護者、地域が力を合わせ、互いに信頼しあい、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていくことが一番のねらいです。



▲「学校運営協議会」(南方中学校)

## 心豊かな生活に向けた生涯学習の充実

市民一人一人が、充実した心豊かな生活を送ることができるよう、さらには地域を支え発展させることができるよう、市民の学習活動を促進するとともに、自ら学ぶ市民への支援、学びの拠点として公民館等の活動の活性化を図ります。

### 《主な取組》

- ◆市民の学習機会の提供と学習する場の充実
- ◆学びの成果を生かせる活動への支援
- ◆子どもの創造性と自主性を育む地域教育力の向上



▲令和2年度「学校・地域教育力向上対策事業」  
(さつま芋栽培指導)から

## 地域に密着したスポーツ活動の推進

市民の生涯スポーツの推進に重点を置き、体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などのスポーツ関係団体との協働により、市民の健康増進や生きがいづくり、さらには各種スポーツにおける競技力向上を図ります。

### 《主な取組》

- ◆生涯にわたるスポーツ活動の推進
- ◆スポーツを身近に楽しめる地域スポーツ活動の充実
- ◆競技力向上に向けたスポーツ指導者の支援と育成
- ◆スポーツ活動を支援する環境づくり



▲地域のスポーツ振興とコミュニティ形成に向けて、  
毎年開催される宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭

## 文化が息づくまちの創造

本市に伝わる豊かな文化遺産を後世に引き継ぐための保護・保存を行いながら、地域に伝わる伝統芸能や文化の継承を図ります。

また、小・中学校において優れた芸術を鑑賞する機会を提供し、児童生徒の豊かな感性と感受性の醸成を図ります。

### 《主な取組》

- ◆文化財の保護・保存の充実
- ◆文化・芸術を創造するための環境の整備



▲歴史博物館企画展「桃と菖蒲の節句展」(左)  
登米懐古館企画展「宗倫と覺乗寺のキセキ」(右)